

# 先輩インターンの活躍について

派遣年度	2012年度	インターン番号	AP048	タイプ	長期
派遣国	インド		派遣都市	チェンナイ	
受入機関	Orient Green Power Company Limited				
受入機関概要 (事業内容等)	再生可能エネルギー(風力、小水力、バイオマス)発電による売電事業				
派遣期間	2012/9/5 ~ 2013/2/22				
現在の所属先	株式会社日立製作所		当時の所属先	同左	
現在の所属部署	産業プラント事業部		所在地	東京	
区分	大企業		性別	男性	

## 1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

環境技術など、インド国内での活用の可能性を検討するため、インターンシップに参加してビジネスチャンスを探ってくるよう上司から話があり、応募しました。

## 2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

派遣期間のうち、2ヶ月間はチェンナイにある受入機関のオフィスでバイオマス発電に関する法律やビジネスの仕組みを各部署の担当者から学びました。その後の4ヶ月間は内陸にある都市に移動し、実稼動しているバイオマス発電所に通い、視察しました。所長や運転員にインタビューして課題点をまとめ、効率的な稼動に向けた提案を行いました。

## 3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

効率化のためには日本の技術や機器など導入すればいいだけではなく、コスト面や雇用面を考慮すると、あえて作業員を雇用したり、機器に関しても最新ではなく必要十分な機能を満たしていればよい場合もあり得ることを、現地で直接インタビューすることで知ることができました。現地の事情を踏まえた提案でなければならないことはインターンシップ参加前から把握していましたが、コスト感覚が日本と違うことを肌で実感でき、インターンシップに参加した意義があったと考えています。

### インターンシップ風景



バイオマス発電所近景



バイオマス発電の燃料となるヤシ殻の投入作業体験

#### 4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

以前まではインドというと所属部内でも未知の領域で、いろいろと誤解もあったと思います。しかし帰国後に社内報告会を行い、“予想通り”な面、“予想外”の面を示した結果、ハードルが下がったようで、インドの環境分野に関して技術的なソリューションを提供できるか検討するミッションが立ち上がりました。私自身は現在、インドに関係する業務には就いていませんが、私のインターンシップ参加をきっかけに、ミッションは継続しており、現在も現地機関との接触は続いています。

#### 5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

海外でのインターンシップとなると、日本とは異なる言語、文化、商習慣など、ハードルは数多く存在します。ですがHIDAの方々をはじめ、関係機関のサポートはありますので、思い切って参加してみたいかがでしょうか。